

第28回 多職種連携 医療・福祉セミナー

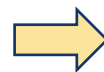
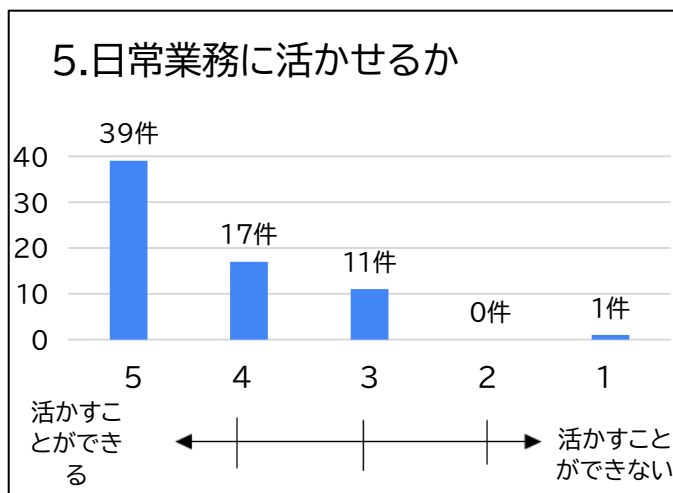
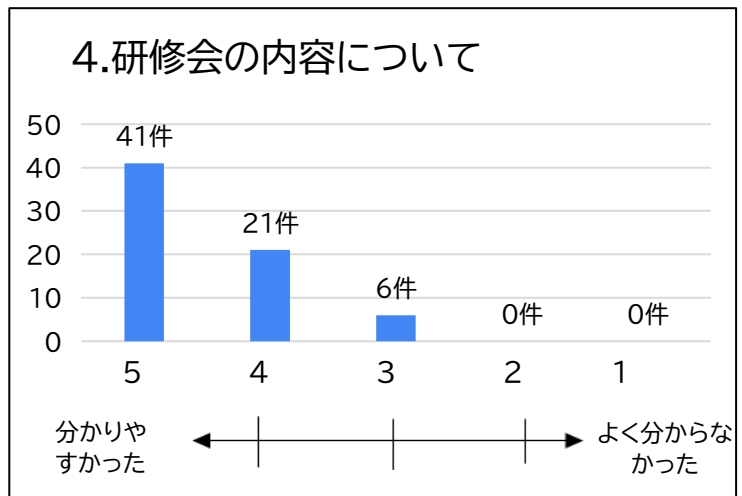
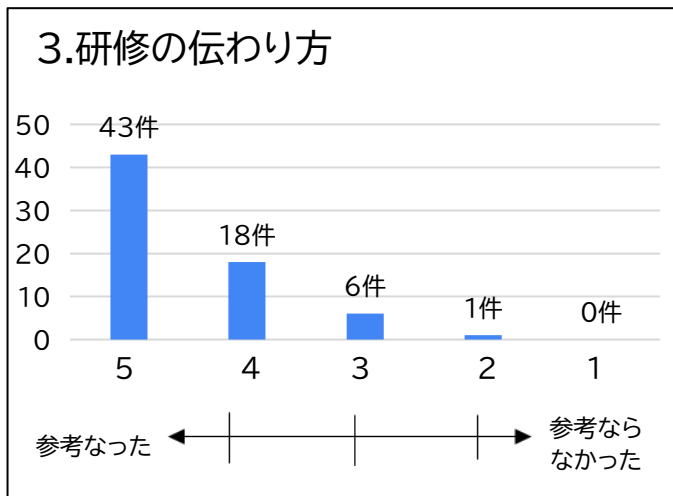
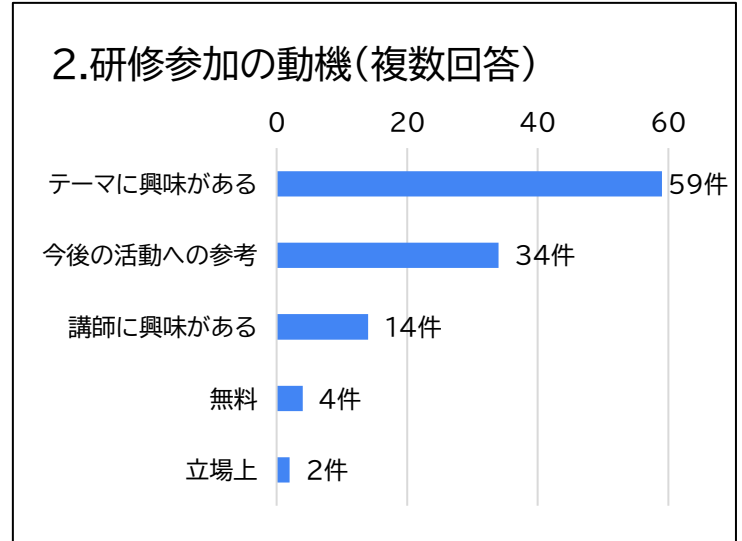
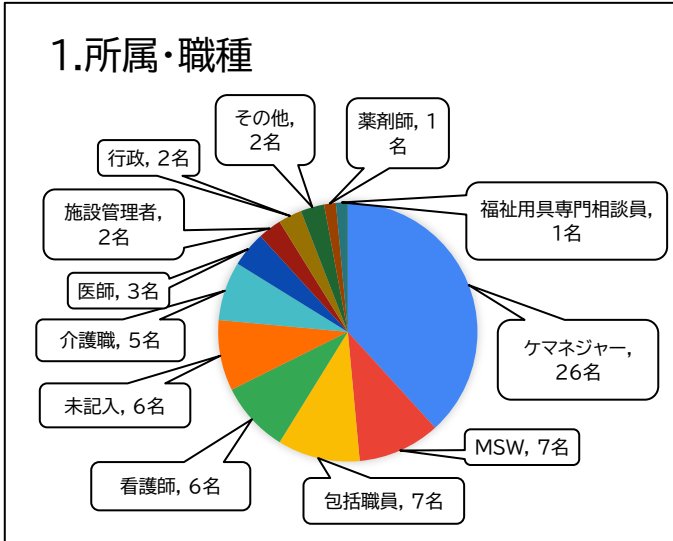
「事例研究会:身寄りがない一人暮らし入門編～」

日時:令和6年8月22日(木)18:30～20:30

申込み者数:96名

参加者数:76名

アンケート回答者数:68名 アンケート回答率:89.5%



5. 日常業務に活かせるか
その理由については次ページへ

5. 今後日常業務に活かそうですか その理由等

活かせる

- ↑
- 5
- ①身寄りのない人の支援のアイディアが増えた。身近でなくてもキーパーソンを探すことの大切さ。支援者同士の協力の仕方、本人の意向選好など関係者が役割の線引きをせず少しずつお節介するなど。
 - ②入院がきっかけで包括さんから入所まで上手くいったケースでその流れが勉強になりました。もし、入院なく在宅で居宅が関わっていて介護サービス利用していて最終的に入所となるようなケースではもっと大変なのかなと思いました。
 - ③流れを見たり、聞いたりしておくことで実際に支援にあたる時に情報として持っていたいと思いました。
 - ④同じ方向性で目的を持ってチームで関わる大切さを再確認できた。それぞれの職種の視点で本人の望む支援につなげることが寄り添った支援になると学ぶ事が出来ました。
 - ⑤どの様な部門にSOSを出せばよいのかクリアになった。
 - ⑥本人の意志を尊重しながら困ることなく地域で関わるチームを一つ一つ作っていく事が大事と思われた。本人の生活史を探る事も重要だと思った。
 - ⑦初期介入や困難ケースに対するチーム形成やアプローチに対して学びが多かったです。
 - ⑧皆さんと意見交換が出来て良かったです。
 - ⑨チーム形成する上での情報共有の大切さを、もう一度見直し職場全体で共有できるようにしたいと思った。
 - ⑩今まで身内が居ない方でも既に施設入所されてから訪問診療を担うことが多かったので、自宅での問題発生から包括の介入、行政の介入、後見人決定、入所までの流れが分かりやすく勉強になりました。
 - ⑪貴重な事例研究のご報告ありがとうございます。行政の連携に活かせるよう、今日の内容を是非庁内にも共有したいと思います。普段、お世話になっている包括の方々ともお会いできて、良かったです。意見交換もためになりました。
 - ⑫身寄りのない方の支援のハードルの高さに悩む機会が多く、相談場所や内容について整理することが出来ました。
 - ⑬身寄りがない認知症の方に対する意思決定支援やチームアプローチの必要性について深く学ぶ事が出来ました。
 - ⑭支援者1人で抱え込まないこと、チームで役割分担をして、支援していく事の大切さを改めて実感することができました。
 - ⑮チーム作りの大切さを学びました。各担当の立場からの意見がとても参考になりました。
 - ⑯実際に自分の事例も振り返る機会となった。
 - ⑰チーム形成が大事という事を改めて学んだ。
 - ⑱一つの事例についてそれぞれの機関の動きや考え方を聞くことが出来て良かった。いざという時の協働連携の為に顔の見える関係性づくりが大切という事を改めて感じました。
 - ⑲一人の方に対し様々な職種の方が関わる重要性が理解できた。薬剤師としてもっと多職種とかかわっていくべきと感じた。
 - ⑳身寄りがない方への支援を考える上で、本人の意向を踏まえて支援できるように普段から関りを持てるようにしたい。
 - ㉑本人が主体である事。仲間作りがとても大切だと再認識。
 - ㉒実際にこの様なケースは支援するのは大変ですが、今回の研修会を思い出しながらやれば行ければいいと思いました。コーディネーターの菅野様の分かりやすく伝えて下さったのでとても良かったです。
 - ㉓今までは自分が中心になって、周囲をまとめなければという思いが強く、それがストレスになっておりましたが、今後は少し、力を抜いて他の方にも頼ろうと思います。
 - ㉔訪問時の関わり方や常に情報の共有の必要性を再確認が出来ました。
 - ㉕病院、行政、包括がどのように連携し、一人の方に向き合っていくのかを学ぶ事が出来た。
 - ㉖チーム作りについて、「本人」が主語となって支援が出来る事。どんな方向性をもって支援をするのかを明確にする事。会議では目的を持って働きかけをしていく事など、いろいろな学びが出来ました。ありがとうございました。

4	<p>①今後、身寄りのない方を担当した時にきっと参考になる事例だと思った。</p> <p>②他職種で関わる中で、誰がリーダーシップをとるのかそのタイミングなども含め、介入の仕方次第ではスムーズに話が進まないのではないかとこの思いから…。</p> <p>③孤独にしないという気持ちでチームで支援して下さったことに感謝。</p> <p>④業務の中で困難に感じる事、その対応など参考になる事が多かった。他職種連携の考え方の参考になった。</p> <p>⑤多職種のそれぞれの思いや考え方が見えました。その方のための「チーム」が大事であり、連携が必要であることを再確認しました。</p> <p>⑥実践することは難しいと思いますが、本日の事を心がけたいと思います。</p> <p>⑦各専門職の役割をそれぞれに聞くことが出来て学ぶ事が出来ました。</p> <p>⑧今後身寄りのない方が増えていく事が、考えられる為、一事例として参考になりました。</p> <p>⑨ちいさなおせっかい”決められた業務だけではなく、もう少し踏み込んでもいいんだ！！”と思うことが出来ました。“多職種でいいチームワーク”信頼できる関係づくりを大切にしていきたいです。</p> <p>⑩多職種との連携(行政含め)を事例を踏まえて聞くことが出来た。とても分かりやすかったので参考にさせて頂きたいなと思いました。</p> <p>⑪初めての話ばかりで、素晴らしい会だったと思います。ありがとうございました。</p> <p>⑫いろいろな考えや関わりが学べたので。</p> <p>⑬一人暮らしの利用者様が増えて来ています。身近な事となってきているので。</p>
3	<p>①具体的に何をという事ではなく、グループワークでモヤッと感が残りました。一人で話をしている人がいてあまり深まらなかった。</p> <p>②多職種との関りの大切さ、必要性がすごく分かりました。一人だけ、一ヶ所か所だけが負担にならないようにするのが大事と学びました。ありがとうございました。</p> <p>③サ高住なので、契約という部分での問題が出てくるのではないかと考えた。後見人がいれば可能ではあるが、本当に誰もいない場合は難しいのではないかと感じた。</p> <p>④同様な例があった場合見習います。</p> <p>⑤今後ますます増えていくと思われる孤立した高齢者の対策を一つずつ解決していくのは非常に大変だと感じました。</p> <p>⑥病院という枠の中で活動しており、外部の支援者と関わる機会が少ないため。</p> <p>⑦介護職として意向や気持ちを大切にしていきたい。</p>
1	<p>現在勤務しているのは施設。現在身寄りがない人はいない。</p>

活かさない